

地域と共に歩む 「コミュニティスクール」の実現①

地域開放
ゾーン

地域交流の場としても
活用可能な多目的室

みんなでランチ！？



中藁科小学校、水見色小学校、清沢小学校3校と藁科中学校を対象とした
施設一体型の**藁科地域小中一貫校**を整備します

藁科地域とは静岡市の山間部に位置し、近年、児童生徒数が減少し、地元からも近隣の小学校・中学校と合併・再編してほしい要望が提出されました。近隣の小学校3校と中学校1校を統合し、現在の藁科中学校に新たな校舎を建設して、小中一貫校として再整備することとしました。

静岡市の小中一貫教育は、小学校と中学校が、「目指す子どもの姿」を地域・保護者と共有し、小中9年間の「たてのつながり」と、学校と地域の「よこのつながり」の「つながる力」を育てると共に、地域ならではの特色ある教育を通して、地域と共に「たくましくしなやかな子どもたち」の実現を目指しています。



地域と共に歩む 「コミュニティスクール」の実現②

「つながる力」(社会的な絆)の育成するために、建築が出来ることは？

小学生と中学生のつながり → 別々の空間に分かれてはダメ？

地域の人にどのように学校を解放するのか？



<みんなで考えよう！>

地域特性やこれからの学校に求めるものなど、児童生徒、保護者、地域住民や先生方にアンケートやワーキングを実施し、色々な意見を聞きました。



地域交流室

地元の「神楽」ができるように畳スペースをつくり、外から直接出入り出来るようにした地域との「つながり」の場



大階段と吹き抜けと図書コーナー

大きな階段で上下階を空間として「つなぎ」、図書コーナーも一体とし、児童生徒が集まれる場所へ

周辺の豊かな自然環境を活かしながら、地元の木材をふんだんに使った学校を



一般教室

廊下との建具を大きく解放出来るようにして、広い廊下と一体利用出来るようにして他の学年との「つながり」を創出



大階段とホールを利用した児童生徒が集まる場所。吹き抜けにすることで上からも何をしているのが見ることが出来る